



なでしこ

令和8年3月2日
さいたま市立谷田小学校
TEL 882-2980
FAX 811-1334
<http://yada-e.saitama-city.ed.jp>
【在籍児童数】 599名

【校風】かしく なかよく たくましく 【教育目標】進んで学ぶ子 たがいに助け合う子 かっぱいやりぬく子

夢と希望をもって

校長 村田 寿一

三寒四温が繰り返される中で、少しずつ春の訪れを感じるようになってまいりました。光陰矢の如し、時が過ぎるのは早いもので、いよいよ3月です。寒さが残る中、春の近づきを真っ先に知らせてくれた梅の花が散り、その代わりに桜のつぼみが少しずつふくらみ始め、春の訪れがようやく目にも感じられるようになりました。

3月は、卒業の季節であり、たくさんの別れと涙があり、次への希望の季節でもあります。2月27日には6年生の「巣立ちの会」が開催されました。6年生一人ひとりが、これまで積み重ねてきた成長と、未来へと向かおうとする力強い姿を見せてくれ、素晴らしい会となりました。そして何よりも保護者の皆様からのサプライズプレゼント。会場全体が優しさと温かさに包まれ、私も気が付けば涙が止まらなくなっていました。この場を借りて改めて御礼申し上げたいと思います。素晴らしい子ども達を育ててくださった6年生の保護者の皆様、ご多用の中お越しいただきましたご来賓の皆様、本当にありがとうございました。今後も1年生から5年生、ひまわり学級の各学年においても、今年度最後の授業参観・懇談会が予定されています。皆様どうぞよろしく願いいたします。

今月は、全校児童が参加する「6年生を送る会」といった卒業関連行事が続き、心に残る楽しい思い出づくりができる一方で、それらが一つ終わるごとに、別れの日が近づいていることを実感するようになります。卒業まであとわずかとなった6年生はもちろんのこと、学年末を迎え、今のクラスの友達や先生と過ごせる時間を名残惜しく感じている児童も少なくないと思います。今の学年、クラスも、あと1か月。学年のまとめ期間、そして、次の学年への大切な準備期間として、一日一日を大切に過ごして欲しいと思います。

さて、先日無事終幕を迎えたミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックでは、たくさんの名場面が生まれ、多くの選手が躍動しました。力を出し切り大きな成果を上げた選手もいれば、悔しい思いをした選手もいました。でも、皆共通して口にしていたのは「これまで支えてくださった方々への感謝の言葉」でした。一生懸命に毎日を過ごす人は、周囲から応援されます。谷田小学校の子どもたちも、皆様の熱い思いを受け取りながらこの一年を全力で過ごしてきました。私達教職員は、そのような子どもたちを支えつつ、様々な機会に、「なりたい自分になるために何事にもチャレンジしよう」と伝えてきました。そして「なりたい自分」を具体的にイメージすることで、そのために何をするか、一つ一つ行動のめあてを立てることが大事であることも伝えてきました。子どもたちが「なりたい自分」の姿を思い描くためには、自分はやればできる、自分は大丈夫と自己肯定感を高め、安心して過ごす当たり前の毎日の生活が大切だと考えています。なりたい自分の姿をイメージしていくことは将来の夢を育むことにもつながります。その流れをしっかりとつくるためには、様々な場面で我々が支えとなって、子どもたちのがんばりに対して、見守り、温かい励ましを行うことが何よりだと考えています。そして、谷田っ子たちには、大人になったときに、今度は自分が地域のため、子どもたちのために動くことができるような、そんな温かい心をもつ人に育ってほしいと願っています。

この一年間、子どもたちのためにたくさんのご協力をくださり、ありがとうございました。また、谷田小の教育活動を進めるにあたり、温かな支援をいただき本当に助かりました。年度途中で生じた課題については、保護者、地域の皆様のご支援、ご協力を得て一つ一つ乗り越えて参りました。ご厚情に深く感謝を申し上げたいと思います。皆様からいただいた学校評価や今年度の課題を踏まえ、令和8年度はコミュニティスクール4年目としてより一層、地域と連携し、地域との協働による豊かな体験活動を通して、子どもたちの考える力を育てていきたいと考えています。